

LORC 2005年7月スケジュール

15日(金) 第4回運営会議

時 間: 10:00 - 12:00

会 場: 龍谷大学深草学舎 8号館 4階会議室 及び
瀬田学舎 1号館理事室 (TV会議)

- テーマ: 1. 中間評価資料作成の進捗状況について
2. 中間報告の今後のとりまとめ日程について
3. ディスカッション・テーブル (DT) の総括について
4. ブックレットの発行について
5. 次年度2006年度プロジェクト研究専任研究員について
6. 海外調査の追加について
7. その他

23日(土) 第4班第3回研究会

時 間: 13:30 - 16:00

会 場: 龍谷大学深草学舎 紫英館 2階 第1共同研究室

講演者: コーネル大学 Norman Uphoff 教授

テーマ: Measuring Empowerment at the Community and Local Levels

24日(日) 第3班第1回研究会

時 間: 9:00 - 10:30

会 場: キャンパスプラザ京都 6階龍谷大学サテライト教室

- テーマ: 1. 中間報告の内容について
2. 提言の出版計画について

24日(日) 教育・研修システム WG 第4回研究会

時 間: 10:30 - 13:30

会 場: キャンパスプラザ京都 6階龍谷大学サテライト教室

24日(日) 第2班第2回研究会

時 間: 14:00 - 16:00

会 場: キャンパスプラザ京都 6階龍谷大学サテライト教室

- テーマ: 1. 中間報告の取りまとめについて
2. 公共政策系教育カリキュラム分析について
3. 英国の教育研修関係者招聘について

各班活動状況

第1班 RA 辻本 乃理子

2005年度第1回研究会を6月25日に開催しました。2004年度の研究活動総括と第1班の2005年度の研究活動、そして第1研究班と政策デザインWGとの研究活動の分担について議論しました。制度化への支援と研究は第1研究班の課題とし、具体的な地域の支援は政策デザインWGの課題とすることが確認されました。次回研究会開催日については未定です。

東京農工大 COE 地域連携室との連携プロジェクトにおいては、三重県プロジェクトが始動し、三重県総合企画局主催「新しい時代における地域のあり方」第1回ワークショップが去る6月4日に開催されました。今後月1回程度会合が持たれる予定です。これとともに「新しい時代における地域のあり方」検討部会が開催されることになっており、第1研究班は三重県に対して制度化への支援を積極的に進めます。また、7月22日「21世紀 COE 『生存科学』論シンポジウム」が東京農工大学小金井キャンパス1号館大講義室にて開催される予定で、パネリストとして班代表の白石克孝教授が参加されることになっています。

第2班 RA 田村 瞳

教育・研修システムワーキング・グループ(以下、WG)の第二回研究会(LORC 熊本会議)が6月3日にキャンパスプラザ京都で開催された。ここでは、教育・研修WGの発足事由と目的の説明、そして前回からの協議事項である熊本市での研修プログラム実施における熊本市側の受入れに対する現状説明に加え、具体的な内容(どのように研修を展開していくのか、研修の対象をどこに絞るのか等)について議論され、今後引き続き協議することが合意された(次回日程未定)。また、今後の研究活動としては、7月24日の午前中に「志の森」プロジェクトの総括のための研究会(教育・研修システムWG)、午後からは、第二班第二回研究会が開催される予定である。

第3班 RA 田村 瞳

* 第3班は現在実質的な研究活動は行っておりませんが、昨年度から継続の活動が多少残っておりますので、昨

年度担当 RA の田村より報告を致します。

昨年度の認証評価システムについての研究成果を LORC ブックレット No.2 として『公共政策系教育プログラムの評価と認証 - 日米の現状と動向』という表題で夏頃に刊行を予定している。また、秋には第三班の3年間の研究成果を書籍として出版する。そして、7月24日にキャンパスプラザ京都で中間報告の内容、そして上述の出版計画について協議する2005年度第一回研究会が開催される予定である。

第4班 RA 新井 健一郎

6月25日に開催された第2回研究会では、インド、インドネシア、スリランカ、ウガンダ、南アフリカから研究者の参加を得て、昨年11月の会合に引き続き、各国における分権化の現状について情報交換を行った。また、会の最後に、今後の活動方針や成果のまとめかたについて話し合いがもたれ、本やワーキング・ペーパーを出版することや、人材育成に関するサーベイを実施することなどが確認された。なお、7月23日(土)に、コーネル大学の Norman Uphoff 教授をむかえ、'Measuring Empowerment at the Community and Local Levels'をテーマに第3回研究会を開催する予定。

プロジェクト担当 PD 的場 信敬

* プロジェクト担当 RA 退職により、新任者採用まで PD 的場よりご報告致します。

6月10日(金)に地域公共人材像WGの第1回研究会が開催された。今回は、最初の会合という事もあり、今後議論を進めていく上で重要な論点として考えられるものを抽出するため、ブレインストーミングのような形でメンバーの意見を広範に集めた。LORCの今後の研究活動の核となる、民主主義やガバナンス、人材像といった概念的な議論に加え、「志の森」やイギリスのLSPといった実践的取り組みに対する、LORCのこれまでの研究成果と今後の研究活動への関連性についても検討した。

今回の研究会は、夏期休暇期間終了後早い時期の開催ということで確認された。

LORC information

LORC ディスカッション・テーブルが開催されました

去る、6月25、26日(土、日:24日に現地視察)に、LORC ディスカッション・テーブルが開催されました。今回は基本的に LORC 研究員向けの内部会議として開催されましたが、両日とも30名にのぼるご参加を頂き、新しく立ち上がった3つのWGの今後の研究テーマについて活発な議論が展開されました。また、今回は、アジア、アフリカ諸国からも国外研究員が多数参加され、各国の経験と日本の状況を比較検討する貴重な会合となりました。当日の議事録については、後日 LORC ホームページ (<http://lorc.ryukoku.ac.jp/index-jp.html>) に掲載する予定です。



第2班に山口洋典氏が加入されました

本年度6月より、大学コンソーシアム京都の山口洋典さんが第2班の研究員として新しく加入されました。山口さんには、昨年11月にキャンパスプラザ京都で開催された第3班のディスカッション・テーブルの際にお世話になって以来、大学コンソーシアム京都と LORC のリンク作りに色々ご協力を頂いておりました。今後は研究員として LORC の活動にご貢献頂くこととなります。山口さん宜しくお願ひ致します。

山口 洋典 氏 (大学コンソーシアム京都 研究主幹 [博士:人間科学])

掲示板

松浦さと子先生が執筆された書籍が出版されました

第2班研究員の松浦さと子先生が執筆された章が掲載されている書籍が有斐閣から出版されました。愛知万博をテーマにしたタイムリーな本ですね。皆様是非ご一読下さい。

町村敬志、吉見俊哉(編著)『市民参加型社会とは - 愛知万博計画過程と公共圏の再創造』(有斐閣、2005)

新聞・雑誌などの記事について

新聞、雑誌などにご自分の記事が掲載された時は、ぜひ LORC 支援室の場 (matoba@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp) までお知らせ下さい。こちらでも出来るだけピックアップするようにしていますが、すべてをカバーするのは困難ですので、宜しくお願ひ致します。

LORC 資料室内文献紹介

皆様からも有益な文献・映像資料などの情報をお寄せ下さい。ご協力宜しくお願い致します。

津田正夫、平塚千尋（編）『パブリック・アクセスを学ぶ人のために』（世界思想社、2002）
Gray, C. (1994) *Government Beyond the Centre: Sub-National Politics in Britain*, Macmillan, London
福川裕一、矢作弘、岡部明子『持続可能な都市』（岩波書店、2005）
斎藤文彦『国際開発論 - ミレニアム開発目標による貧困削減 -』（日本評論社、2005）
竹下譲、横田光雄、稲沢克祐、松井真理子『イギリスの政治行政システム - サッチャー、メジャー、ブレア政権の行財政改革』（ぎょうせい、2003）

雑誌の情報は以下のサイトへ！

ガバナンス

http://www.gyosei.co.jp/book/g_zassi/gover/index_gover.html

日経グローカル

<http://www.nikkei.co.jp/rim/>

新コーナー！！土山先生のアイランド滞在記

アイランドと私（2）----- 免許と私

先月初め、車を買いました。98年式日産 MicraGX（日本名マーチ）の黒です。嬉しい初のマイカーはマニュアル車です。これで「部屋・ブロードバンド環境・車」という、アイランド滞在の土山的三種の神器が揃いました。

保険のこともあり、車を買ったらこちらの免許が必要になりますが、試験なしで日本の免許と引き換えに取得できます。車購入は当初からの目標だったので、4月の半ばに申請しておきました。1週間くらいかかるとのこと。「どこに取りにいけばいい？」「郵送されるから大丈夫。ちょっとイヤな予感が。なぜなら、手数料には郵送費が入っていません。ということは、普通郵便で来ます。大丈夫か。しかし他に選べるオプションもありません。やっぱり10日待っても来ません。2週間すぎて気になってきましたが、GWのLORC調査に重なり、きっと留守中に来るさと期待して楽しく調査に参加しました。

戻って来ても、やっぱり来ていません。仕方がないので再申請しました。「住所ほんとにこれでいいの？」「これでいいよ。2日後に来ました。脱力。封筒を見ると、事前に記入した住所のシールが張ってあって、ダブリン市役所のマークが入っています。それだけです。担当者はもちろん、部署も、ダブリン市役所のDも入ってません。もちろん普通郵便です。「これじゃあ、郵便事故にあっても、差出人にも戻せないよねえ」と独白。身分証明になる写真IDなのに、それでいいのか。悪用されたらとは思わないのか？でも、基本的に、<悪い人はいない、うまくいく>という前提で物事が設計されています。しかも、けっこうそうなんですよ。<アイランドで私を危地に陥れるのは、誰か悪い人よりも私自身のうっかりである>を真理とする私です。

免許を手に入れて車を買って2週間後、開封されたものをテープでとめた郵便物が来ました。よれよれになった封筒を開けるとそこには免許が。表書きには「誤配達、ここに（と、私のラベルに矢印がついて）配達して下さい」と手書きで。誤配達や転居のときには、ポストに入れると再配達や転送してくれるんだそうです。誤配達された誰かが対応してくれたのでしょうか。誰だか知りませんが、ありがとう。できれば、もうちょっと早く欲しかったけど...。というわけで、私の手元には免許が2つあります。無くしても大丈夫（？）。

LORC 研究員のひとこと（紹介）

今月の研究員紹介はお休みとさせていただきます。次回をお楽しみに。

編集後記

6月30日に食べる「水無月」。京都特有の風習だと知ったのは大学院生になってからでした。最近の水無月って小さくて高価なお菓子になっています。小さく思えるのは私が大きくなったからか、それとも本当に小さくなったのか？私自身次世代にどれだけ地域の伝統や風習を伝えることができるでしょう。少し不安です。(N)

過ごし難い日が続きますが、お体にお気をつけください。(K)

梅雨の季節に入り、毎日天気が悪くめいってきました。早く夏休みが来ることを祈る今日この頃です。(H)

今月は Newsletter の発行が遅れてしまいました。申し訳ありません。これから8月末に向けて、LORC は中間報告の準備で大忙しとなりそうです。研究員の皆様にもご協力をお願いしていることと存じます。どうぞ宜しくお願い致します。(T)

LORC Newsletter Vol.12, 11 July 2005

編集・発行：龍谷大学地域人材・公共政策開発システムオープン・リサーチ・センター（LORC）支援室

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

TEL: 075-645-2312 FAX: 075-645-2240

E-mail: matoba@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp (PD 的場) WEB: <http://lorc.ryukoku.ac.jp/index-jp.html>